

院内掲示用

患者さんおよび代理人の方へ

「難治性精神疾患に対するポジティブフィードバックを取り入れた小集団作業療法の効果研究」

1. 研究の対象

2016年1月～2018年8月に当院精神科入院中、精神科作業療法を実施した方

2. 研究目的・研究期間

精神科作業療法とは精神科治療において一般的な治療であるが当院ではポジティブフィードバックを取り入れ尚且つ、小集団で実施されています。しかし、作業療法の効果を明確にした研究は多くはありませんでした。その為当院におけるポジティブフィードバックを取り入れた小集団作業療法の効果を明らかにする事を目的にカルテ調査を計画しました。本研究では精神科に受診している方により良い治療を確立、提供できる事を目的としています。この研究は倫理委員会承認日から平成31年3月31日まで行う予定です。

3. 研究方法

当院では①精神科作業療法を受けた、②薬物治療が困難とされている難治性精神疾患の方に本研究調査への参加をお願いしています。カルテでの調査は当院において通常の診療記録や作業療法評価の結果をもとに分析を行います。したがって参加者に新たな検査や、治療の変更などはありません。その為、本調査研究に参加される・されないは今後の治療には一切影響はありません。この研究は患者さんのカルテから年齢、性別、入院日数、診断名、作業療法評価等のデータを収集させていただきます。本研究の目的のみに調査や評価を行う事は一切ありません。

4. 個人情報保護の方法

個人情報の取り扱いには十分配慮し、外部に漏れないよう厳重に管理を行います。個人情報を保護するため、個人情報管理者が被験者ごとに番号を付けて、データ等の取り扱い時にはこの番号を用い氏名等は使用しません。また、あなたとこの番号とを結びつける対応表は鍵のかかる場所で厳重に保管します。

5. 研究参加の任意性について

この研究への参加は任意です。あなたの自由な意思が尊重されます。研究に参加しないことによって、今後の診療で不利益な対応を受けることはありません。いったん参加に同意した場合でも、いつでも不利益を受けることなく同意を撤回することができます。ただし、同意を撤回したときすでに研究成果が論文などで公表されている場合があります。

6. 研究参加による利益・不利益

利益…本研究にデータを提供いただいた患者さん個人に直接有益で、役立つ治療や支援ができることはございませんが本研究に多くの方が参加することにより、精神疾患に対する適切な作業療法が確立され、社会的にも非常に有益な研究となることが予測されます。
不利益…カルテからのデータ収集のみであるため、特にありません。

7. 研究終了後のデータの取り扱いについて

研究終了時には、データは、患者さん個人を特定できない状態にして廃棄いたします。

8. 研究成果

この研究で得られた成果を専門の学会や学術雑誌に発表する可能性があります。成果を発表する場合には、研究に参加いただいた方のプライバシーに慎重に配慮します。個人を特定できる情報が公表されることはありません。

9. 研究へのデータ使用の取り止めについて

いつでも可能です。患者さんあるいはその後家族からの代理人（患者さんが、ご自身の意思を伝えられない健康状態にある場合など）がデータを本研究に用いられたくないと考えた場合は、下記〔問い合わせ窓口〕までご連絡ください。取り止めの希望を受けた場合、それ以降、患者さんのデータを本研究に用いることはありません。しかしながら同意を取り消した時、すでに研究成果が論文などで公表された場合などのように、結果を廃棄できない場合もあります。なお、総同意書でデータの利用について希望されない旨を記載いただいている場合は、データの使用は行いませんので、改めてお申し出いただく必要はございません。

10. お問い合わせ

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、データが当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮

高知大医学部附属病院 リハビリテーション部（精神科）

研究責任者：作業療法士 松田祥幸（まつだよしゆき）

連絡先：088-880-2359